

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	加古川市立子ども療育センター		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日	～	令和7年11月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日	～	令和7年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年4月1日	～	令和7年11月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)が訪問支援員として在籍しています。	子ども、保護者、担任等のニーズや困りごとの内容によって、訪問支援する専門職を決めています。	各専門の研修を通じてより専門性を高めるとともに、サービス提供後の情報共有を行うことで、職員の知識・技術の向上に努めてまいります。
2	診療所を併設し多職種が在籍しています(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師)。そのため各専門分野のアセスメントから子どもの発達段階や特性を踏まえた関わり方を助言することができます。	保護者の同意を得た上で、診療所のこどもの情報を活かし、適切な支援につなげています。	子ども、保護者、担任等の困りごとや課題の共通理解、専門分野のアセスメントを活用し、よりよい支援につなげてまいります。
3	地域の障害児支援の中核的役割を担う児童発達支援センターとして、地域の関係機関と連携した支援を行っています。	学校園や事業所からの来所相談や見学の受け入れを行っています。また、訪問相談やケース・連携会議に各専門職を派遣し、幅広い地域支援を行っています。	こどものライフステージに沿って、関係機関が連携を図り、切れ目のない支援を提供する体制を整えてまいります。また、学校園や事業所等への助言や研修を通じて、地域全体の支援の質の向上を図ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当センター診療所を受診されている子どもしか利用できません。	訪問支援員が他業務と兼務しており、訪問できる時期や人数が限られています。	引き続き、人員確保に努めてまいります。また、各関係機関との連携体制を協議してまいりたいと考えています。
2	相談から訪問の実施まで時間を必要とします。	訪問を受け入れる学校園等との調整、個別支援計画の作成、訪問支援員の人数が限られていることなどから、実施までに時間を要しています。	当事業ではスケジュール計画が困難であるために、センター独自事業で申し込み時期と訪問時期を定めた訪問事業を行っています。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 加古川市立こども療育センター

公表日 令和8年1月29日

利用児童数 1名 令和7年11月1日時点 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				1		こどもの状況に応じて教具教材を準備しています。個別支援計画や実施報告を通じて保護者と共通理解ができるように努めます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	1					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	1					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。				1		保護者同意のもと、事前に訪問先施設や担任等から現状を聞き取り、保育所等訪問支援計画を作成しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	1					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。				1		加古川市在住で、こども療育センター診療所に通院されているこどもの保護者を対象に実施しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	1					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	1					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	1						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。			1		ホームページで事業案内や自己評価結果を掲載しています。また、子どもや保護者への周知を図ります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。		1			集団の中で個人が特定される場面の見学は避ける等、子どもが嫌がらない工夫をしています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和8年1月29日
加古川市立こども療育センター	利用児童数	1名 令和7年11月1日時点 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・ 昨年の状況と比較しながら、今の状態の評価と助言、また、ケースバイケースにおける対応も教えていただき非常に勉強になった。当方の方針も決めやすくなった。					・ 引き続き、訪問支援員の専門性の向上を図ると共に、訪問後に報告会を開催し、こども、保護者、担任等のニーズを把握することで、こどもの状態に応じた適切な支援を行います。また、関係機関と連携を図りながら、支援の質の向上に努めます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		加古川市立こども療育センター		公表日		令和8年1月29日		
環境・整備・運営	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
		1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1		個別訓練に使用しているもの、訪問先にあるものを使用している。	個別支援計画や実施報告を通じて保護者と共通理解ができるように努めます。	
業務改善	2	2	2	2	特に不都合はなかった。	施設基準に沿った職員配置を行っています。が、よりニーズに応じた支援が行えるよう、引き続き、人材確保に努めてまいります。		
		3	3	3	3	3	3	3
業務改善	3	3	3	3	3	3	3	
		4	4	4	4	4	4	4
		5	5	5	5	5	5	5
		6	6	6	6	6	6	6
		7	7	7	7	7	7	7
適切な支援の提供	8	8	8	8	8	8	8	
		9	9	9	9	9	9	9
		10	10	10	10	10	10	10
		11	11	11	11	11	11	11
		12	12	12	12	12	12	12
		13	13	13	13	13	13	13
		14	14	14	14	14	14	14
		15	15	15	15	15	15	15
		16	16	16	16	16	16	16
		17	17	17	17	17	17	17
18	18	18	18	18	18	18		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		1	その後の経過は診察や訓練場面で把握している。訪問支援自体は半発で終わるが、必要に応じて再訪問を行うなど柔軟に対応している。	こどもの状況に応じた保育所等訪問支援計画の見直しが行えるよう、相談支援事業所とも相互連携を図り、情報共有を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		1	施設として対応している。	職員間での情報共有を図り、担当者会議等では保育所等訪問支援の提供状況を踏まえて、目標への達成度や気づきの点等の情報を積極的に共有していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		1	訪問支援のほかに、地域と連携する事業を複数展開している。	定期的な会議の開催、もしくは必要に応じて連携しています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		1	保育所等と学校の間でどのような申し送りがなされているか監督する立場にないが、保護者の希望で書面を通じて情報提供を行う場合がある。	日頃から保護者及び就学先との連携を図り、情報共有を図りやすい環境を整えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		1	対応している。必要に応じて他部門から助言を得る。	引き続き、他の専門機関との連携を図りながら、職員を外部研修等に参加させて質の向上に努めてまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		1	施設として対応している。	引き続き、参加いたします。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		1	対応している。子どもの様子については随時診察や個別訓練の場面で共有している。	引き続き、診療所と連携しながら、こどもの状況を把握したうえで、保護者との共通理解を持てるよう面談を行います。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		1	施設として対応している。	引き続き、家族が参加できる家族支援プログラムの開催や研修会の情報提供を行っています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		1	対応している。	契約書、重点事項説明書を用いて説明しています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		1	訪問先に聞き取りを行う際に事業の概要について説明している。	日程調整時に訪問先施設へ連絡し、事業概要やこどもの困りごとや保護者のニーズなどの情報共有を行っています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		1	保護者と面談時に説明を行っている。	保育所等訪問支援計画の作成にあたり、こどもや保護者のニーズを聞き取ったうえで個別支援計画を作成しています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。		1	保護者と面談時に説明を行っている。	支援計画書を通じて保護者との共通理解を図り、利用に対する同意をいただいています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		1	診察や個別訓練で対応	訪問支援事業のため、定期的な面談は実施していませんが、困り事発生時には家族等が相談できるよう体制を整えています。また、モニタリングや実施後の報告の際には丁寧な説明を行い、意思疎通を図ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		1	現時点で父母の会や兄弟を支援する取り組みはない。	訪問支援事業のため、保護者同士が交流する機会を設けていませが、家族が参加できる家族支援プログラムの開催や研修会の情報提供を行っています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		1	対応している。	引き続き、診療所と連携しながら、こどもや保護者からの相談等があった際には迅速に対応できるよう体制を整えます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		1	現時点で積極的には行っていません。	ホームページの情報を常に最新の情報に更新し、わかりやすい内容を心がけます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		1	留意している。	個人情報の取扱いについて、職場倫理研修会を実施し、周知徹底しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		1	口頭だけではなく紙に書いて伝える場合がある。稀に手話通訳をお願いする場合がある。	こども本人や家庭の状況等を踏まえるとともに、障害種別に応じた意思の疎通や情報伝達のための配慮を心がけます。
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		1	個別訓練を見学してもらったり、他事業の利用を勧めている。	訪問後も必要があれば連携して支援方法を検討することを伝えています。また、訪問先が相談しやすいように、園長会議等を利用し、事業説明を行うなど日頃から顔の見える関係作りを行っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		1	訪問終了後、その場で情報共有を行うようにしている。	実施後、訪問先担当者、こどもへの関わり方や環境設定など支援方法の検討を行っています。

設 へ の 説 明 等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		実施報告を行うようにしている。	訪問後、実施報告書を通じて保護者と共通理解が出来るように努めています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		留意している。	個人情報の取扱いについて、職場倫理研修会を実施し、周知徹底しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1		対応している。	訪問先施設が相談しやすいよう意思疎通を図りながら、相談や助言を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1		職場内の研修に参加	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、研修会を実施しています。また、保護者と情報共有を図ったうえで実地訓練等を行っています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		職場内の研修に参加。安全計画の有無は不明だが、安全に配慮した上で子どもへの対応を行っている。	当施設全体で研修を実施し、安全管理について周知徹底を行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1		安全に配慮した上で子どもへの対応を行っている。 ヒヤリハット事例については書面で理解を行っている。	ヒヤリハットについては速やかな事例報告・再発防止対策などの情報共有を行ってまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		職場内の研修に参加。	虐待防止を目的とした研修会を実施し、周知徹底しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1		該当なし	身体拘束防止を目的とした研修会を実施し、周知徹底しています。また、保護者と情報共有を図ったうえで個別支援計画に記載しています。